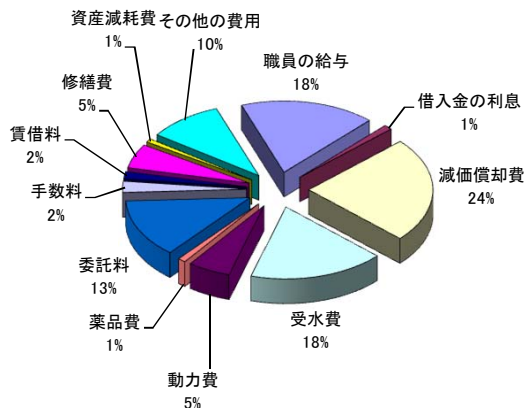


令和元年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。
町議会において、令和元年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	36.61
借入金の利息	2.29
減価償却費	49.32
受水費	36.68
動力費	11.55
薬品費	2.12
委託料	27.32
手数料	5.22
賃借料	3.47
修繕費	11.44
資産減耗費	1.57
その他の費用	20.24
計	207.83

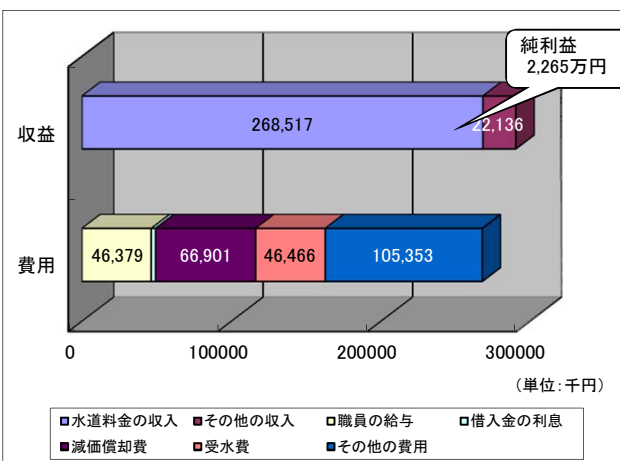
水道水1㎡当たりの費用 207円83銭



収益的収支・・・水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※令和元年度決算においては、2,264万7千円の純利益となり、繰越欠損金は1,656万5千円に減少しました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	268,516,790
	その他の収入	22,136,479
費用(支出)	職員の給与	46,378,987
	借入金の利息	2,906,325
	減価償却費	66,901,067
	受水費	46,466,157
	その他の費用	105,353,496
	賃借料	3,470,000



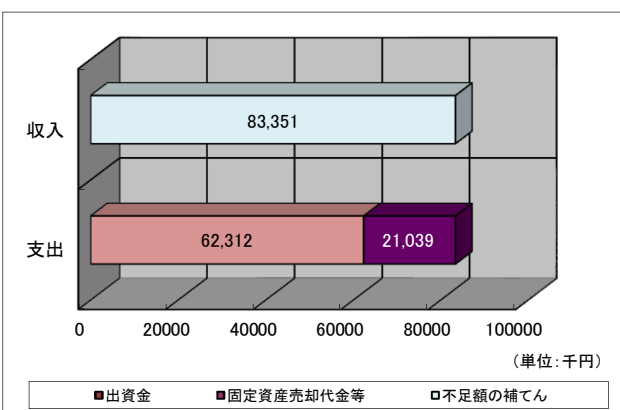
※受水費・・・埼玉県企業局からの県水購入費
※減価償却費・・・水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)	
収入	290,653,269
支出	268,006,032
純利益	22,647,237

資本的収支・・・浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備拡充するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	出資金	0
	不足額の補てん	83,350,699
	固定資産売却代金等	0
支出	建設改良費	62,311,834
	企業債償還金	21,038,865
	有価証券購入費	0



令和元年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)	
膜ろ過施設自動弁交換工事	2,563,000
山入加圧場送水ポンプ更新工事	3,960,000
黒岩地内舗装本復旧工事	1,512,000
石綿管更新に伴う舗装本復旧工事	5,093,000
越生地内石綿管更新工事	2,376,000
津久根地内石綿管更新工事	17,938,800
上野地内石綿管更新工事	23,815,000
上谷・越生地内配水管布設替工事	1,870,000

有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

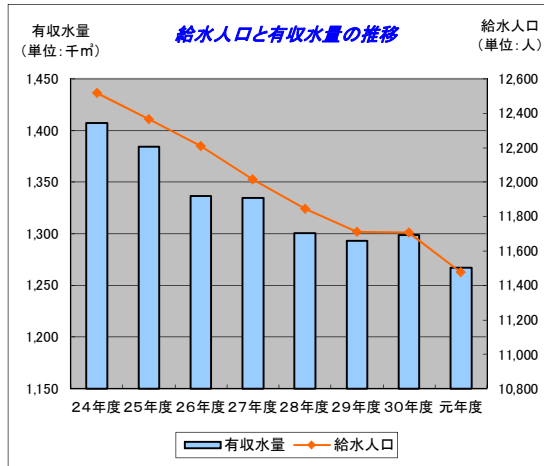
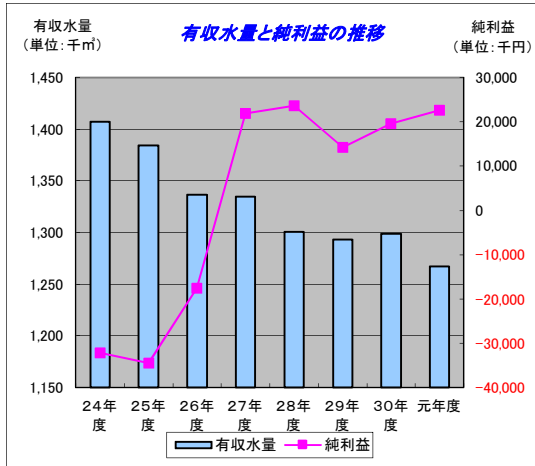
下記のグラフは、過去8年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。

有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しております。

一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっております。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月より料金改定を行い、平成27年度決算から黒字に転じ、令和元年度現在まで黒字となっております。

水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。これからも引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



令和元年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

資産の部		負債の部	
固定資産	1,408,475,854	固定負債	62,028,767
有形固定資産	1,388,915,854	企業債	62,028,767
無形固定資産	9,560,000	流動負債	77,285,974
投資	10,000,000	企業債	16,866,753
流動資産	366,716,614	引当金	5,101,000
現金預金	352,267,573	未払金	55,271,061
未収金	8,411,527	預り金	45,455
貯蔵品	6,360,674	前受金	1,705
その他流動資産	△ 323,160	その他流動負債	0
		繰延収益	123,541,316
		長期前受金	449,652,410
		長期前受金収益化累計額	326,111,094
		負債合計	262,856,057
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	298,472,811
		資本剰余金	23,807,410
		利益剰余金	274,665,401
		資本合計	1,512,336,411
資産合計	1,775,192,468	負債・資本合計	1,775,192,468

《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

収入の部		支出の部	
営業収益	283,714,434	営業費用	264,978,841
給水収益	268,516,790	原水及び浄水費	111,553,802
受託工事収益	284,480	配水及び給水費	43,954,919
その他の営業収益	14,913,164	受託工事費	145,381
営業外収益	6,938,835	総係費	40,419,391
受取利息	75,103	減価償却費	66,901,067
他会計補助金	1,153,047	資産減耗費	1,984,255
長期前受金戻入	4,408,373	その他営業費	20,026
雑収益	1,302,312	営業外費用	2,911,721
特別利益	0	支払利息	2,906,325
固定資産売却益	0	雑支出	5,396
過年度損益修正益	0	特別損失	115,470
		固定資産売却損	0
		過年度損益修正損	115,470
		支出合計	268,006,032
		当年度純利益	22,647,237
収入合計	290,653,269	合計	290,653,269